

(仮称)まちなか環境アプリサービスの実装に向けた実証実験事業(熊谷スマートシティ推進協議会)

■ 都市課題

- ・夏の暑さでの快適性低下や外出行動の制約を払拭する**人口減少対策**を模索。
- ・熊谷スポーツ文化公園⇄JR熊谷駅のアクセス環境充実化、ピフォー／アフター・スポーツでの仕掛けづくり等、快適な移動・回遊の実現による**交流／関係人口の増加**を検討。

■ 解決方策

- ・熊谷版スマートハウスの確立や街区の形成
→**快適な住環境の実現**
- ・各分野で連携した行動変容アプリや自動運転バス隊列走行等の展開→**まちなかの回遊性やアクセス環境向上による交流／関係人口の増加**
- ・様々な取得データの連携→**まちなかの快適化・最適化**

■ KPI

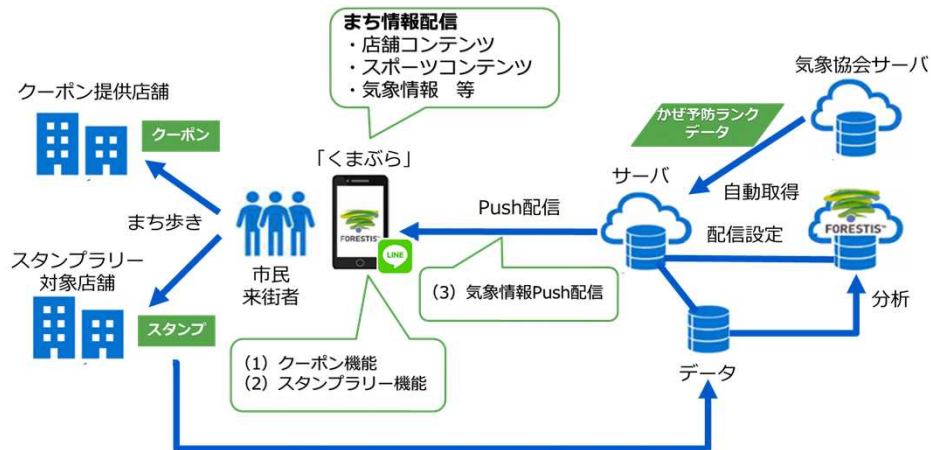
都市環境	都市環境データ・室内データカバー率 高齢者熱中症件数、再生可能エネルギー分担率
モビリティ	イベント時バス待ち時間 公共交通分担率
スポーツ	熊谷市観光資源の認知度 来街者の熊谷市滞在時間

■ 実証実験の概要・目的

人々の行動変容の喚起を目的としたアプリを開発、イベントや気象をトリガーとして、掲載した個店クーポンを配信。来街者・市民の行動変容を促し、行動データを取得・分析することにより、効果的な回遊性向上について調査するほか、アプリ機能拡大の可能性、市内におけるスマートツールとしての活用や自立的なビジネスモデルへの発展の可能性を研究する。

■ 実証実験の内容

LINEアプリサービスである熊谷まちなかあるきアプリ「くまぶら」により、まち情報の配信、クーポン、アンケート収集等を実施。市内のコンテンツを期間中ラグビーの試合開催(4回)や気象変化に合わせてプッシュ通知にて配信し、取得データ及びアンケートをもとに、「まちなかの回遊促進」「イベント時の来街者の行動変容」「気象情報の配信による行動変容」の点において効果検証を行った。



■ 実証実験で得られた成果・知見

登録状況、クーポン利用状況から、回遊の促進を確認できた。気象情報での回遊は比較的小規模ながら、アンケート調査により魅力的なコンテンツ・魅力的な行動変容への期待値を確認。

項目	KPI	最終結果
LINE公式アカウント登録者	2,300人	3,176人
「くまぶら」登録者	2,000人	2,548人
クーポン利用数	186回/月	298回
事業者数(店舗)	55店舗	51店舗
CVR	9%	10.4%
アンケート取得数	500件	1,253件
サービス満足度	満足60%	44%

■ 今後の予定

- ・コンテンツ・機能の拡充
- ・横展開に向けた連携強化
- ・ビジネスモデルとしての展開検討

ワンストップ・システムツールとしての「くまぶら」展開